

令和 6 年 6 月 27 日現在

機関番号：82610

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K10625

研究課題名（和文）セネガルにおける臨床看護師のコンピテンシー評価尺度の開発

研究課題名（英文）Clinical competency assessment for nurses in Senegal

研究代表者

永井 真理（Nagai, Mari）

国立研究開発法人国立国際医療研究センター・国際医療協力局・連携協力部 展開支援課 専門職

研究者番号：20378011

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：セネガル保健省とともに、同国で初めての臨床看護師のコンピテンシー評価尺度を開発した。また、セネガルの全ての公立看護師養成学校で現状調査を実施し、教育の質を担保する規制文書は比較的整備されているものの、それを実施する組織体制やインフラの不備、関係者の能力不足等の課題を明らかにした。これらの結果をもとに、教員の能力強化への取り組み、保健省が保健人材養成を実施する意義の再考、限られた資源を有効活用するためのプラットフォームの活用などを、セネガル保健省へ提言した。これらの結果をまとめた英文学術論文を執筆した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究でセネガル保健省とともに開発した同国初の臨床看護師のコンピテンシー評価尺度を用いてコンピテンシー評価を行うことで、臨床看護師に対する適切な卒後継続教育を施し、医療サービスの質を改善することができる。また、本研究で明らかにした看護師養成学校における課題を改善することで、セネガルにおいて、よりコンピテンシーの高い看護師を育成することができる。

研究成果の概要（英文）：The first competency assessment tool for clinical nurses in Senegal was developed. The critical bottle necks of national schools of nursing in Senegal were identified, such as weak administrative structure to implement education policies in each school. Based on the research findings, capacity strengthening toward teachers in national school of nursing, strong monitoring and supervision system by ministry of health, establishment of platform to utilize limited resources were recommended to the Ministry of Health in Senegal. We are finalizing to write an academic paper which will soon be submitted to English journal.

研究分野：国際保健、保健システム、保健人材

キーワード：セネガル 看護師 コンピテンシー 看護師養成学校 保健人材 低中所得国 政策提言 フランス語
圏アフリカ

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

世界の人々の健康の実現には、質の高い看護サービスが不可欠である。特に医師不足が深刻な低所得国では、医療サービスの多くを医師ではなく看護師が担っており、看護師の能力が人々の健康に与える影響は非常に大きい。高・中所得国においては、コンピテンシーに基づく教育課程の導入や国家試験によって看護師の質の担保が行われ、また、その効果を定期的に評価することで卒前教育や卒後教育の改善に反映させている。しかし多くの低所得国ではその限りではなく、コンピテンシーに基づく教育制度や国家試験制度そのものが導入されていても、その評価や研究が行われないままであることが多い。

セネガルでも西アフリカ保健機構の方針に基づき、2008年から看護基礎教育にコンピテンシーに基づいた内容は導入されていることになっている。しかし臨床看護師のコンピテンシーの適切な評価尺度が存在せず、これまで一度もセネガル国内の看護師に対し、コンピテンシー評価が行われていない。さらにセネガルでは、看護師養成学校へのコンピテンシー教育カリキュラム導入後、国家資格試験の合格率が非常に低下した。毎年、看護師養成学校を卒業した者の数割しか国家試験に合格していないにも関わらず、その原因は不明のままである。特に看護師養成学校において、看護師・助産師コンピテンシー教育が適切に実施されているか、その現状や課題を同定するための調査は、一度も行われたことがない。そのため、看護師養成学校の質の評価と、評価結果に基づく改善が、セネガル保健省にとって優先度が高い政策課題となっていた。

2. 研究の目的

- ① セネガルにおける臨床看護師のコンピテンシー評価尺度を、同国保健省とともに開発する。
- ② コンピテンシーに基づく看護基礎教育を提供しているはずの看護師養成学校の現状を調査し、同国の看護師教育の課題を明らかにし、同国保健省に対して効果的な政策を提言する。

3. 研究の方法

- ① 西アフリカ保健機構の規定をもとにセネガル国保健省が作成した、セネガル国看護師に求めるコンピテンシーの内容を入手、分析する。それをもとにセネガルの臨床看護師のコンピテンシーを評価する尺度を開発し、セネガル国保健省による臨床看護師対象の定期評価項目に落とし込む。
- ② カリキュラム・臨床実習先・学生・教員・インフラストラクチャーとマネジメントの5つの影響因子から構成される卒前教育コンセプトモデル (Johnson et al.) に基づいて、セネガルの公立看護師養成学校の現状を確認する調査票を作成する。その調査票を用いて、セネガル国内の全ての公立看護師養成学校を訪問して現状を視察すると

もに、校長・事務長・教員に対して半構造化インタビューを行う。これにより卒前教育の環境を明らかにし、教育の質の現状と課題を質的に分析する。

4. 研究成果

- ① 研究開始一年以内で COVID19 の世界的な流行がおき、セネガル在住の日本人研究協力者の緊急避難帰国や、セネガル・日本双方での入国制限やセネガル国内の移動制限などが起きた。そのため、当初の研究実施計画に沿った研究遂行に時間を要した。しかしその間に、セネガル国看護師に求めるコンピテンシーの内容を入手、分析を行った。それに基づき研究期間の後半には、セネガルネガル保健省とともに、同国初めての臨床看護師のコンピテンシー評価尺度を開発することができた。
- ② 卒前教育コンセプチュアルモデルの5つの影響因子をセネガルのコンテキストに合わせて、規制文書・ガバナンス・機能・人材・財務・インフラ・設備・ロジスティクス・臨床実習を含むカリキュラム、という9つの影響因子に構成しなおし、調査票を作成した。そのうえで、セネガル国内の7校全ての公立看護師養成学校を訪問して現状を視察するとともに、校長・事務長・教員の合計55名に対して半構造化インタビューを行った。その結果、以下のことが明らかになった。すべての学校は2003年から2007年の間に設立され、年間に計70名の看護師、71名の助産師、30名の准看護師を育成している。保健省の法令に基づく規制文書やカリキュラム文書は、すべての学校において比較的整備されていた。しかしながら、それらの文書の内容を実践する組織体制やインフラや関係者の能力が不十分であり、すべての学校で、整備された文書にかかっている内容どおりには、教育が提供されていないことが明らかになった。この結果をもとに、学校長・事務員・教員それぞれに対し、求められる職務に沿った能力強化への取り組みが重要であること、保健省の公立看護師養成学校への監督指導の強化の必要性、看護師教育に関する限られた人的・財政資源を有効活用するための、学校間プラットフォームの設立などを、保健省へ提言した。現在、Current situation and challenges of public nursing and midwifery education institutions in Senegal というタイトルで英語論文を執筆中であり、近々学術誌に投稿する予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 9件/うち国際共著 9件/うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 Thandar Moe Moe, Rahman Md. Obaidur, Haruyama Rei, Matsuoka Sadatoshi, Okawa Sumiyo, Moriyama Jun, Yokobori Yuta, Matsubara Chieko, Nagai Mari, Ota Erika, Baba Toshiaki	4. 巻 19
2. 論文標題 Effectiveness of Infection Control Teams in Reducing Healthcare-Associated Infections: A Systematic Review and Meta-Analysis	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 17075 ~ 17075
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph192417075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Koto-Shimada Kyoko, Fujita Noriko, Matsuoka Sadatoshi, Jimba Masamine, Touch Sokneang, Zwi Anthony B.	4. 巻 116
2. 論文標題 Medium-term outcomes of a program to upgrade the nursing faculty in Cambodia: A qualitative study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nurse Education Today	6. 最初と最後の頁 105438 ~ 105438
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nedt.2022.105438	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Honda Mari, Inoue Nobuaki, Liverani Marco, Nagai Mari	4. 巻 20
2. 論文標題 Lessons learned from the history of postgraduate medical training in Japan: from disease-centred care to patient-centred care in an aging society	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Human Resources for Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12960-022-00752-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Ikemoto Megumi, Inoue Nobuaki, Yambii Oyunbileg, Serdamba Davaasuren, Demberel Bayarmaa, Manlai Munkhuu, Batchuluun Battsooj, Demchig Dondogmaa, Ulam-Orgikh Narantsetseg, Purvee Erkhembayar, Nagai Mari	4. 巻 5
2. 論文標題 Issues in enhancing continuing professional development for midwives in clinical practice in Mongolia	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Global Health & Medicine	6. 最初と最後の頁 311 ~ 315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35772/ghm.2023.01027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tamura Toyomitsu, Bapitani D?sire Basuana Josue, Kahombo G?rard Ulyabo, Minagawa Yui, Matsuoka Sadatoshi, Oikawa Miyuki, Egami Yuriko, Honda Mari, Nagai Mari	4. 巻 5
2. 論文標題 Comparison of the clinical competency of nurses trained in competency-based and object-based approaches in the Democratic Republic of the Congo: A cross-sectional study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Global Health & Medicine	6. 最初と最後の頁 142 ~ 150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35772/ghm.2023.01026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ikemoto Megumi, Matsuo Kaori, Tamura Toyomitsu, Mashino Sonoe	4. 巻 5
2. 論文標題 Lessons learned from practices during the initial response to COVID-19 on the cruise ship Diamond Princess	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Global Health & Medicine	6. 最初と最後の頁 188 ~ 190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35772/ghm.2023.01025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koto-Shimada Kyoko, Miyazaki Kazuki, Inthapanith Pengdy, Phanpaseuth Souksavanh, Sisoulath Anousone, Nagatani Shiori, Kikuchi Shikino, Tamura Toyomitsu, Fujita Noriko	4. 巻 5
2. 論文標題 International cooperation for nursing human resource development in Lao PDR: Investing in nursing leadership	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Global Health & Medicine	6. 最初と最後の頁 249 ~ 254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.35772/ghm.2023.01031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Honda Ayako, Tamura Toyomitsu, Baba Hiroko, Kodoi Haruka, Noda Shinichiro	4. 巻 9
2. 論文標題 How Hospitals Overcame Disruptions in the Early Stages of the COVID-19 Pandemic: A Case Study from Tokyo, Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Health Systems & Reform	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/23288604.2023.2175415	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nagai Mari、Oikawa Miyuki、Komagata Tomoko、Basuana Josue D'sir? Bapitani、Ulyabo G?rard Kahombo、Minagawa Yui、Matsuoka Sadatoshi、Egami Yuriko、Honda Mari、Tamura Toyomitsu	4. 巻 22
2. 論文標題 Clinical competency of nurses trained in competency-based versus objective-based education in the Democratic Republic of the Congo: a qualitative study	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Human Resources for Health	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12960-024-00921-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

[学会発表] 計7件(うち招待講演 1件/うち国際学会 2件)

1. 発表者名 Basuana Josue Desire BAPITANI, Gerard KAHOMBO, Tomoko Komagata, Yui Minagawa, Miyuki Oikawa, Sadatoshi Matsuoka, Hiroko Kikuchi, Toyomitsu Tamura, Mari Nagai
2. 発表標題 Competency assessment of clinical nurses in Democratic Republic of the Congo -Towards improving the quality of health services by optimizing health workforce-
3. 学会等名 The 7th Global Symposium on Health Systems Research (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Y Ito, T Komagata, T Tamura, M Oikawa, H Kikuchi, Y Egami, M Nagai
2. 発表標題 Toward providing professional care by reforming the nursing education system in Democratic Republic of the Congo
3. 学会等名 Transcultural Nursing Society Conference in Japan 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 駒形朋子、田村豊光
2. 発表標題 グローバルヘルスと看護 State of the World's Nursing 2020 Reportから見える日本の看護人材の現状と課題
3. 学会等名 WKCフォーラム「最前線を担う看護師 ~グローバルヘルスにおける役割と展望~」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 菊地紘子
2. 発表標題 Working conditions and care practices among hospital health workers in Senegal.
3. 学会等名 第35回日本国際保健医療学会（グローバルヘルス合同学会2020）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 永井真理
2. 発表標題 保健人材研究のスコープと手法
3. 学会等名 第38回日本国際保健医療学会学術大会グローバルヘルス合同大会2023
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松岡貞利
2. 発表標題 保健政策研究のスコープと手法
3. 学会等名 第38回日本国際保健医療学会学術大会グローバルヘルス合同大会2023
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Tamura T, Koto-Shimada K, Kikuchi S, Inthapanith P, Phanpaseuth S, Sisoulath
2. 発表標題 ラオス人民民主共和国における看護師のコンピテンシー評価尺度の信頼性と妥当性の検証
3. 学会等名 第38回日本国際保健医療学会学術大会グローバルヘルス合同大会2023
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 駒形朋子、田村豊光、永井 真理	4. 発行年 2022年
2. 出版社 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際医療協力局	5. 総ページ数 40
3. 書名 「看護と助産のグローバル戦略の方向性 2021-2025	

1. 著者名 駒形朋子、田村豊光、永井 真理	4. 発行年 2022年
2. 出版社 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際医療協力局	5. 総ページ数 40
3. 書名 看護と助産のグローバル戦略の方向性 2021～2025	

1. 著者名 駒形朋子、田村豊光、永井 真理	4. 発行年 2020年
2. 出版社 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際医療協力局	5. 総ページ数 136
3. 書名 世界の看護 2020 教育、労働、リーダーシップへの投資	

1. 著者名 World Health Organization. Regional Office for the Western Pacific (including Mari Nagai)	4. 発行年 2024年
2. 出版社 World Health Organization. Regional Office for the Western Pacific	5. 総ページ数 54
3. 書名 Regional Framework to Shape a Health Workforce for the Future of the Western Pacific	

1. 著者名 Technical Evaluation Reference Group for Global Fund (including Mari Nagai)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Global Fund	5. 総ページ数 156
3. 書名 Global Fund Mapping Health Systems Strengthening (HSS) Component of the Resilient and Sustainable Systems for Health (RSSH) Investments	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	駒形 朋子 (阿部朋子) (Komagata Tomoko) (70361368)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター・国際医療協 局・看護師 (82610)	2022年に所属先を退職し、これまでと同じエフォ ート率での研究の継続が不可能になったため、研究分 担者リストからの削除を申請し、2022年6月16日にそ の変更が承認された。

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 協力者	田村 豊光 (Tamura Toyomitsu) (30579991)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター・国際医療協 局・課長 (82610)	
研究 協力者	江上 由里子 (Egami Yuriko) (30213531)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター・国際医療協 局・課長 (82610)	
研究 協力者	及川 みゆき (Oikawa Miyuki) (70871797)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター・国際医療協 局・看護師 (82610)	
研究 協力者	野田 信一郎 (Noda Shinichiro) (60294831)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター・国際医療協 局・課長 (82610)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	本田 真梨 (Honda Mari) (20862535)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター・国際医療協力局・医師 (82610)	
研究協力者	高野 友花 (Takano Tomoka) (20976021)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター・国際医療協力局・看護師 (82610)	
研究協力者	松岡 貞利 (Matsuoka Sadatoshi) (60817617)	国立研究開発法人国立国際医療研究センター・国際医療協力局・上級研究員 (82610)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関